株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0992
2026 年 11 月 24 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本軽金属ホールディングス株式会社（証券コード:5703）

【据置】

長期発行体格付	Ａ－
格付の見通し	安定的

■格付事由

(1) 日本軽金属グループの純粋持株会社。長年培ってきた技術や知見、多様な得意分野をもつ子会社間の連携を活かし、高い開発力を強みとしている。自動車、輸送、エレクトロニクス、食品を中心に顧客層も幅広い。当社はグループ全体の統括会社として経営戦略立案や資金調達などの機能を担っており、グループの一体性が強いことから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。

(2) 業績は着実に回復している。中東情勢を背景とした原燃料価格の上昇のほか、一部事業では中国市場における日系自動車メーカーの販売不振の影響を受けている。ただ、半導体関連製品の需要回復に加え、コスト上昇分の価格転嫁や低収益案件の価格是正が進展し、収益力向上に寄与している。中期的な業績は収益源の分散効果や付加価値の高い商品の拡販により、底堅く推移することが想定される。財務面では積極的な設備投資を行う方針だが、利益蓄積による自己資本の拡充などを考慮すると、現状程度の財務構成が保たれるとみられる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。

(3) 27/3 期の経常利益は 350 億円（前期比 48.0%増）と 4 期連続の増益となり、過去最高益を更新する計画。アルミ地金価格上昇による差益や販売価格改定の浸透などが全社業績を大きく押し上げる見込みである。今後、27 年 4 月以降を目途に当社および神戸製鋼所の国内アルミ押出事業を統合する計画であるほか、自動車部品事業では収益基盤の再構築を図る予定である。これらの取り組みや半導体関連、放熱用途を中心とした付加価値の高い商品の拡販により収益力の強化が図れるか確認していく。

(4) 27/3 期第 2 四半期末の自己資本比率は 44.2%（26/3 期末 44.7%）と前期末並みの水準にある。新中期経営計画（27/3～29/3 期）では、設備投資や研究開発などに伴い累計 1,300 億円のキャッシュアウトを計画しているほか、足元ではアルミ地金価格上昇により運転資金が増加している。ただ、現状のキャッシュフロー創出力などからみれば、有利子負債が大きく増加する懸念は小さいと JCR では考えている。

（担当）上村　暁生・中井　康一

■格付対象

発行体：日本軽金属ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 11 月 19 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：里川　武
   主任格付アナリスト：上村　暁生
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「持株会社の格付方法」（2025 年 4 月 2 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　日本軽金属ホールディングス株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.